**第17回全国高校生英語ディベート大会 “Online” 実施要項**

**The 17th All Japan High School English Debate Tournament “Online”**

(2022年4月)

１．主　　催　　 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 （HEnDA）

　　 　 理事長　下屋　浩実

２．特別協賛　　 GTEC（株式会社ベネッセコーポレーション）

３．後　　援　　 文部科学省　アメリカ合衆国大使館　全国英語教育研究団体連合会

公益社団法人全国高等学校文化連盟　特定非営利活動法人日本ディベート協会

特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟 （以上全て申請中）

４．年間協賛　　 神田外語学院・神田外語大学　（予定）

５．期　　日　　 令和4年（2022年）12月17日（土）～ 18日（日）

６．開催形態　 Zoomでのオンライン開催（詳細は、連盟HP）

７．大会運営委員会　HEnDAオンライン全国大会運営委員会

委員長 丸橋　洋之（白梅学園清修中高一貫部教諭）

８．審査委員会　　 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）

　　 理事・審査委員長 矢野　善郎（中央大学教授）

９．参加条件　・学校教育法第1条に定める高等学校在学者または高等専門学校の3年まで、または中等教育学校の4年から6年に在学の生徒で本連盟の「メイク・フレンズ憲章」を厳守できる生徒。

・英語のネイティブスピーカーは不可。

・以下の海外生活経験者等の条件に該当する者はチームに2名以内：

(1)英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）

(2)英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）

　　　　　　　 　 (3)家庭で常用的に英語を使っている生徒

※　試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大2名とも出場可

10．チーム構成　１校１チーム。選手登録は4名から6名まで。

各試合には4名が出場（試合ごとにメンバーの入れ替えが可能）。

11．ジャッジ・オンライン参加義務

各参加校につき1名、資格を満たしたジャッジの参加が義務づけられる。

（ジャッジ資格の詳細については「出場申し込みForm」等参照。顧問の兼任は可能）

参加校ジャッジは、ジャッジ事前説明会12月4日（日）（予定）へ参加することを原則とする

12．対戦方法 予選6試合の結果に基づき、上位4校が決勝トーナメントへ進む。

（ただし突発的なネットのトラブル等の場合、予選試合数等を減らす場合もある）

予選各試合はジャッジ2名が審査。決勝トーナメントは、3～5名が審査。

13．論　　題

**Resolved: That the Japanese Government should abolish the mandatory retirement age systems.**

**日本政府は，定年制を廃止すべきである。是か非か。**

　　※　付記事項等、詳細については、連盟HPを参照のこと。

14．日　　程

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 12/17(土) | 8:30～ | 受付 | 12/18(日) | 8:30～ | 集合・受付 |
|  | 9:00～ | 開会式 |  | 9:00～ | 予選第５試合 |
|  | 10:00～ | 予選第１試合開始 |  | 11:00～ | 予選第６試合  （昼食） |
|  |  | （昼食） |  | 13:00～ | 予選結果発表 |
|  | 12:30～ | 予選第２試合開始 |  | 13:30～ | 準決勝 |
|  | 14:45～ | 予選第３試合開始 |  | 15:00～ | 決勝 |
|  | 17:00～ | 予選第４試合開始 |  | 16:00～ | 表彰式・閉会式 |
|  | 18:00～ | オンライン交流会 |  | 17:00 | 終了予定 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

15. 競技規則

競技は「Online大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行います。

「Online大会ルール」「ジャッジ基準」は連盟HP参照

16．大会参加申し込み

　　　　 連盟HP上の申し込みフォームに必要なデータを入力し、お申し込みください。

応募期間は10月1日から**11月9日**まで（必達）。

※都道府県大会または広域大会の入賞校も全国大会へのエントリーが別途必要。

17. 全国大会出場校選抜基準

出場校の最大総数は原則64とする。

　　　　原則として都道府県大会の上位校を選抜する。都道府県大会に参加した学校数に応じて、全国大会出場枠を割り振る（従って都道府県大会への出場が選抜される必要条件となる。）ただし、諸事情により都道府県大会を開けない県については、HEnDA主催で合同予選会を行い特例として参加を認める。また連盟の認定する広域大会の優勝校には出場資格を与える。選抜基準の詳細は連盟HP参照。

18．参加費　20,000円／校

19．表　彰 1位・2位・3位（2校）、予選5～8位

個人賞：最優秀ディベーター1名，優秀ディベーター5名

個人コンストラクティブ／アタック／ディフェンス／サマリー・スピーカーの各最優秀者1名，優秀者3名

成績優秀校に対し、国際ディベート大会等への派遣支援を行う(参加費、旅費の一部を支給)

参加者全員に参加証と記念品（全て予定）

■問い合せ・連絡先

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）

理事・事務局長　　小林 隆徳　henda-kobayashi@peach.plala.or.jp

お問い合せ：連盟HP（henda.global）まで